

# 旭ヶ丘キリストの教会

## 主日礼拝順序

2020年11月8日

司会：千田俊昭  
奏楽：千田祥子

黙 祷		一 同
讃 美※	讃美歌505「妙なる恵みや」	一 同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃 美	讃美歌493「罪のふちに」	一 同
教会学校	紙芝居「約束の地へ」	牧 師
讃 美	讃美歌511「みゆるしあらずば」	一 同
聖書朗読	ダニエル5:1-6	
奨 励	ダニエル書の福音(第5回)	牧 師
主 題	「真の神を礼拝しよう」	
讃 美	讃美歌75「もの皆こぞりて」	一 同
献 金	献金と感謝の祈り	
聖 餐		
頌 栄※	讃美歌546「聖なるかな」	一 同
祝 祷※		牧 師
来週の箇所	ダニエル書第6章	

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申し上げます。しかし、初めての方には無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです(2コリント9:7)。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意しておりますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

## 旭ヶ丘キリストの教会 ニュース



### 《今週の歩み》

11/8(日) 聖日礼拝  
/9(月)  
/10(火)  
/11(水)  
/12(木) 10:00 祈り会  
/13(金)  
/14(土) 13-16子供オプンハウス



### 《祈りの課題》

- ① コロナ禍の終息のために
- ② 礼拝に来れなかった人々のために
- ③ 教会学校の子供たちも救われますように

### 良書ハイライト

中谷宇吉郎著「科学の方法」(岩波新書,1958)

科学について、何かを論じようとする場合に、まず取り上げるべき問題は、科学の限界の問題である。今日われわれが科学と称しているものには、その取り扱い得る問題に、限界があるか否かということ、をまず検討してみる必要がある。

今世紀にはいて、科学が非常に進歩し、特に自然科学が最近になって、急激な発展をとげたことは、今更述べ立てるまでもない。いわゆる人工頭脳のような機械ができたり、原子力が解放されたり、人工衛星が飛んだりしたために、まさに科学ブームの世の中になった観がある。そしてこの調子で科学が進歩を続けて行くと、近い将来に人間のあらゆる問題が、科学によって解決されるであろう、というような錯覚に陥っている人が、かなりあるように思われる。

もちろん科学は、非常に力強いものではあるが、科学が力強いというのは、ある限界の中での話であって、その限界の外では、案外に無力なものであることを、つい忘れがちになっている。いわゆる科学万能的なものの考え方が、この頃の風潮になっているが、それには、科学の成果に幻惑されている点、かなりあるように思われる。これは何も人生問題というような高尚な話ではなく、自然現象においても、必ずしもすべての問題が、科学で解決できるとは限らないのである。今日の科学の進歩は、いろいろな自然現象の中から、今日の科学に適した問題を抜き出して、それを解決していると見た方が妥当である。もっと詳しく言えば、現代の科学の方法が、その実態を調べるのに非常に有利であるもの、すなわち自然現象の中のそういう特殊な面が、科学によって開発されているのである。

それはどういう面かというに、まず第一に、一番重大な点をあげれば、科学は再現の可能な問題、英語で *reproducible* といわれている問題が、その対象となっている。もう一度繰り返してやってみることができるという、そういう問題についてのみ、科学は成り立つものなのである。

…この点をもっとはっきりさせるために、幽霊の問題を取り上げてみよう。幽霊は科学の対象になるか、といえば誰でも一言の下に、否と言うであろう。そして現在の科学では、幽霊は対象として取り上げられていない。しかし昔は大勢の人たちが、幽霊を見たと言っているし、またそういう記録もたくさんある。…それでは多くの人が幽霊を見たからという理由で、これは再現可能であると言えるか。少なくともその時代としては、科学の対象となり得たものであったかという、それはなり得なかったものである。ということは、今まで言ってきたように、再現可能というのは、必要な場合に、必要な手段をとったならば、再びそれを出現させることができるという確信が得られる事なのである。幽霊はそれを再現させる方法について、確信が得られない。…すなわち幽霊というものは、現在の科学が自然界についてもっている認識とは、性質の異なるものである。それで幽霊は科学の対象にはならないのである。